

Multi LABELIST V5 **用途別説明資料**

2020年11月9日

株式会社サトー

目次

1.	ラベル発行を開始する時に基準日付を表示して日付の確認を促したい	. 2
2.	基準日付に時間を表示したい	. 3
3.	発行データを保存しているが呼出した際に日付の項目を今日の日付に変更するのが面倒	4
4.	消費期限の表示を「日付」と「別途記載」を自動的に切り替えたい	. 5
5.	日付入力の項目で過去の日付や 11 日以上先の日付を発行できないようにしたい	6
6.	基準日付の変更可能な範囲を制限し誤った日付を発行できないようにしたい	7
7.	自動改行を使用した時に、単語の途中では改行したくない	. 8
8.	自動改行を使用した時に、好きな位置で改行したい	.9
9.	ビタミン記号を簡単に印字したい	10
10.	プリセット登録や発行で入力チェックを行う	11



1. ラベル発行を開始する時に基準日付を表示して日付の確認を促したい

ML プリントを起動した際に基準日付の設定画面を表示するよう設定できます。

面左上の[ファイル]→[オフシヨン]→[その ヨ付を設定する]にチェックを付けます。	この設定により	起動時に基準日付の設定	画面が表示されるようになります。
		₽ 初期設定	? ×
Ctrl+O)		基準日付を設定します。	
(間であ9。 		^{臺準日付} 基準[日付: 2020/08/03
		•	2020年8月 ,
Lたファイル 日付置換設定 2 基準日付を設定する(D)			2020年8月
決示および編集します。 スカ設定 発行後設定 スキャーストログに置す(の)		日,	引火水木金土
		26 2	
/ョンを終了します。	,	9 1	0 11 12 13 14 15
		16 1	7 18 19 20 21 <mark>22</mark>
		23 2	4 25 26 27 28 29
OK ±++//11		30 3	1 1 2 3 4 5
		>	ステム日付に戻す
			ОК + +>2ル



2. 基準日付に時間を表示したい

通常は日付のみの表示ですが ML メンテナンスの設定により基準日付に時刻も表示するよう設定できます。(Ver.5.8.5.0 で対応)

1.ML メンテナンスを起動したら画面左の[基準日付]を開いて	この設定により基準日付の欄に・・・
[基準日付で時刻を指定する]にチェックを付けて[OK]で閉じます。	基 準日付 平 ×
SATO Multi LABELIST VS Standard [MLメンテナンス] ? X 基準日付を設定します。	基準日付: 2020/08/11 - 🖵
起動設定 を取りたで時刻を指定する 「スワード を取りた デフォルト設定 ポンプレド設定 第単日付の実更時に日付の上限チェックを行う 登挙日付の変更時に日付の上限チェックを行う 登挙年日付の変更時に日付の上限チェックを行う ● ○ ○ 年 ● ○ ○ カ月 ● ○ 日続まで 発行限歴 整視設定 整理日付 情報表示 ライセンス認証	時刻が表示されるようになります。 基準日付: 2020/08/11 18:07 …
 ОК	



3. 発行データを保存しているが呼出した際に日付の項目を今日の日付に変更するのが面倒

保存データを呼び出した際に、日付入力の項目を今日の日付に置き換えるよう設定できます。

 MLプリントを起動 いて[データ呼び出し時の える]を選択します。 ご こ ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご	したら画面左上の[ファイル]→[オプション]を開 D入力日付の置換設定]で[基準日付に置き換	<i>こ</i> のデータを保存して次回呼出した際には・・・・ [■] ^{241/3} [©] ⁹ ⁹ ⁹ ¹ (すべて)(すべて) ^{No.} 発行枚数 製造日 , ¹ 2020年5月26日 - · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
開じる ファイルを閉じます。 タレ使用したファイル メブションを表示および編集します。 イルブ ヘルプを表示します。 F1 ※7 アブリケーションを終了します。 ア	 オブション ? × 日付置換を設定します。 日付置換設定 ・プラやび出し持の入力日付の置換設定 ・プラやファイルの日付設定をそのまま使用する ・プラやファイルの日付設定をそのまま使用する ・プラやファイルの呼び出しの際の入力日付データの置換方法を選択します。 	基準日付に自動的に置き換えされます。 ^{■ 24/4 ●9797} 「(すべて)(すべて)) ^{No} 発行枚数 製造日 ・ 1 2020年8月11日 ・ 1



4. 消費期限の表示を「日付」と「別途記載」を自動的に切り替えたい

「条件印字」機能を使用することで「別途記載」を指定した際に日付を印字しないように設定できます。(「別途記載」が未入力の場合は日付を印字する。)

2. 各オブジェクトのプロパティウィンドウの[属性設定]→[印字]の項目で[条件印字]を 選択します。



3. [印字条件設定]が開いたら[変数名]に「別途記載」の変数を選択します。

4. 日付印字の場合は別途記載が未入力の場合に印字するので[判定内容] は[データなし]を指定します。別途記載のオブジェクトには[データあり]を指定し ます。

D 印字条件設定	? ×
「字条件を指定してください。	
データ 種類: 変数 •	
変数名: (ローカル)別途記載	
条件 判定内容: データあり	•
	ОК + +>>セル



6. デザイン画面で2つのオブジェクトを重ねて配置します。



5. 日付入力の項目で過去の日付や11日以上先の日付を発行できないようにしたい

入力チェックの日付範囲の設定を行うことで、指定した範囲外の日付が入力された際にエラーにすることが可能です。 誤った日付でのラベル発行を防ぎます。

テサイン ノ	力定義 表形式	ŧ		🚰 วีอเ/ีรา		
			 •	入力項目		
			 : [基本設定		
			 :	項目名: 製造日		
			 :	区分: 行 対	象: ローカル変数	
			 :	入力項目		
	••••	· · · · · · · · · · · · · ·	 • *	項目名表示:	入力フィールドの上に表示	Ŧ
No	発行枚数	製造日		テーブル表示:	73 L	
No.	発行枚数 XXXXXX	製造日 ××××××××××	~	テーブル表示: 編集表示:	なし	
No. 1	発行枚数 XXXXXX	製造日 ××××××××××××××××××××××××××××××××××××	*	テーブル表示: 編集表示: 入力チェック:	なし なし なし	

2. 入力チェックの画面が表示されたら[入力チェックを行う]にチェックを付け、 [その他チェック種別]で[日付範囲]を選択します。

🔽 入力チェックを行う	i(1)
基本設定	
入力タイプ: 日付 入力されていない 二 全桁入力されてい	▼ 場合はエラーにする(N) いない場合はエラーにする(F)
その他チェック設定	
その他チェック種別:	チェックしない 🔹
○詳細設定 詳細設定は必要あ	チェックしない C/D チェックテーブル 丸め桁数 条件 日付範囲 特殊

3. [詳細設定]では[対象日付]で[入力値(システム日付と比較)]を選択します。 過去の日付を許可しない場合は「下限チェックを行う」にチェックを付けます。オフセットは変更せず 年、月、日を「0」のままにします。

11 日以上先の日付を許可しない場合は「上限チェックを行う」にチェックを付け、[▼]をクリックして[経過日時]の日に「10」を設定します。

その他チェック設定		
その他チェック種別	: 日付範囲 ▼	
詳細設定		
対象日付:入	力値(システム日付と比較) 🔻	
☑ 下限チェックる	E行う(L)	
オフセット:	方向:未来, 年:0, 月:0, 日:0	
☑ 上限チェックる	2行う(U)	
オフセット:	方向:未来, 年:0, 月:0, 日:10	
1 下限と上間	経過方向: 💿 未来 🛛 過去	
1フセットに	経過日時: 0 🗘 年 0 🗘 月 10 🗘 日	
(例)		
対象日 オフセッ	OK キャンセル	

4. [発行動作]の設定では[入力設定]で[入力時にデータのチェックを行う]にチェックします。

発行動作	入力項目の初期値を表示するタイミング
入力設定	ヘッタエリア: 画面を表示したとき ▼ (テエリア:) ヵヵ酒日がつ+_カフを感け取るとき ▼
ヘッダ・テール札出力	1)エック: ハノ東日ルノオーバスを支いれるとで
エラー処理	■ データ桁数分フルに入力した場合に、次の項目に移動する(N)

発行画面で範囲外の日付を入力して Enter キーで確定するとエラーメッセージが表示されます。 Enter キーを押下せずに発行ボタンを押した場合も表示されます。

MLプリント	×	
<u>^</u>	入力チェック 日付範囲 エラーです。	
	OK	



Multi LABELIST

6. 基準日付の変更可能な範囲を制限し誤った日付を発行できないようにしたい

基準日付の変更可能な範囲を設定することができます。消費期限ラベルの事前発行などで基準日付を変更する際に、設定した範囲外の日付が選択された際にエラー にすることが可能です。(Ver.5.9.0.0で対応) 誤った日付でのラベル発行を防ぎます。

声日付を設定します	•	•	
(動設定 (語設定 (フォルト設定 (本設設定 (特定)) (特定)) (特定) (特定) (特定) (特定) (特定) (基準日付の定更時に日付の下限チェックを行う ● ① ● ○ ● ○ ○ 力月 ● ○ ● 日前から 図 基準日付の定更時に日付の上限チェックを行う ● ② ● 年 ● ○ ○ 力月 3 ○ 日前から	パスワード	
例とし ⁻ にチェック	エーマン・マンクを付け、年、月、日を「0」のままにし フを行う」にチェックを付け、日に「3」	 」する場合 ,ます。 を設定 ,	▶ 合は[下限チェックを行 /ます。







7. 自動改行を使用した時に、単語の途中では改行したくない

原材料名など長い文章で自動改行機能を使用した際に、単語が改行位置にかかった場合に単語の途中で改行せずに単語の手前で改行するように設定することが可能 です。(フォント種別は「Windows フォント(WPF)」を使用ください。) 読みやすい改行印字が可能です。

1. ML デザインで入力変数と文字オブジェクトを作成します。	[改行可能記号]で「、」を設定すると、原材料表示で原材料名の途中で改行されません。
2.オブジェクトのプロパティウィンドウの[基本設定]→[フォント]の項目で[詳細 設定]を選択します。	国産餅粉、砂糖、手亡豆、水飴、植物油脂、抹茶、
Trity BU: W: フォント 種別: Windowsフォント ・ M S ゴシック ・	脱脂粉乳、卵黄、小麦粉、ゼラチン、澱粉、加工澱粉、 酵素(大豆由来)、香料、乳化剤、増粘多糖類、 p日調整剤、着色料(クチナシ、黄4、青1)
第2:8< 福:自動 B」 」 第回 」 第回 」 第回 」 第回 」 1000000000000000000000000000000000000	国産餅粉、砂糖、手亡豆、水飴、植物油脂、抹茶、脱脂粉 乳、卵黄、小麦粉、ゼラチン、澱粉、加工澱粉、酵素(大 豆由来)、香料、乳化剤、増粘多糖類、pH調整剤、着色 料(クチナシ、黄4、青1)
 3. [修飾設定]で[改行]アイコンを有効にし、[改行設定]で[改行文字長]と [改行可能記号]を設定します。 [™] Windows7オント設定 ? × Windows7オントを設定します。 	英文の場合に[改行可能記号]で「」(半角スペース)を設定すると、英単語の 途中で改行されません。
フォント: スタイル。	
Mongolian Baiti	
Monotype Corsiva 斜体	The quick brown fox
MS Outlook 太子 MS Pゴシック 太字 斜体	The quick brown tox 4 設定の9
MS P明朝 * 19リック	iumps over a lazy dog.
MS Reference Sans Serif * 太字 イタリック	junipo oron a lazy dogi
MS UI Gothic	
MS J2/2/7	
x マ サイズ(pt) 修飾設定 (体 新設定)	The quick brown fox jum 验定划。
改行設定 行間ピッチ: 0 (mm) 会生 0 (mm)	ps over a lazy dog.
75 ↓ (mm) 対行文字長: 75 ↓ (mm)	
改行可能記号: 、	
ок + +уди	



8. 自動改行を使用した時に、好きな位置で改行したい

説明文など長い文章で自動改行機能を使用した際に、指定した位置で改行するように設定することが可能です。 行の末尾にスペースを入れて調整する必要がありません。

ミ]を選択します。	
19:5 年 10: 10: 10: 10: 10: 10: 10: 10: 10: 10:	1
制改行記号]を設定します ¹ Windowsフォント設定 Windowsフォントを設定します。	° ×

	データ 貼付 ▼
-	Multi LABELIST Vs¥nĚらに使いやすくなったMulti LABELISTシリーズの新定番
	Multi LABELIST V5 さらに使いやすくなったMulti LABELISTシリーズの新定番



9. ビタミン記号を簡単に印字したい

ビタミン記号の「ビタミン B1」など小さい数字を指定する方法として Windows フォントを使用し数字を変換することで簡単に印字可能です。 外字登録など難しい操作は必要ありません。

【貼付文字の場合】

1.「下付き文字」に対応している日本語 Windows フォントを使用します。 「ビタミン B1」と表現したい場合、「ビタミン B」までは通常通り入力し、「1」の部分 は「1」と入力し、変換結果に出てくる「1(環境依存)」を選択します。 ※類似のものに「1(環境依存)」(上付き文字)もあります。

			7-9			
商品名:	塩レモンキャンディ		貼付		•	
名称			砂糖、酸、ビ	、水飴、食塩/ タミンC、糊料	/甘味 (アラビ	
百材料名	砂糖、水飴、食塩/甘味料(キシリトール) クエン酸、ビタミンC 糊料(アラビアガー	1	B ₁ , †	・イアシン [<u>半</u>]	^	
227 JUNE 10	ム)、香料、ビタミンB1、ナイアシン	2	1	[環境依存]		します。
内容量	80g(個装紙込み)	3	1	[環境依存]	Т	
		4	1	[全]		
		5	1	[環境依存]		
		6	i	[環境依存]		博 , 白新
		7	1	[環境依存]		18. 590
		8	1	[環境依存]		₿⊋ 詳細設定.
		9		[環境依存]	*	
			高さ	9	:	幅: 54 🗘
			総位置			



1.発行用のデータを「B1」として csv ファイルを作成し取り込むことが可能です。 但し、データの保存の際に「Unicode」形式で保存する必要があります。 (発行画面での直接入力も可能です。)

🥅 名前を付けて保存			×
← → ~ ↑ 🔒 > PC	» デスクトップ » Label	✓ ✓ ✓ Labelの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー		E E	= • 🕜
PC	名前	更新日時 種	頬
🧊 3D オブジェクト	検索条	件に一致する項目はありません。	
🖊 ダウンロード			
🛄 デスクトップ			
🔮 ドキュメント			
▶ ピクチャ	<		>
ファイル名(<u>N</u>): data.cs	iv .		~
ファイルの種類(<u>T</u>): テキスト	文書 (*.txt)		~
▲ フォルダーの非表示	文字コート <u>(E)</u> : Unicode	✓ 保存(<u>S</u>)	キャンセル:





10. プリセット登録や発行で入力チェックを行う

プリセット登録時や発行時のデータ入力で入力チェックを行えます。(Ver.5.7.1.0 で対応) 誤ったデータ登録を防ぎます。

1. ML デザインで[入力定義]の画面を表示し、日付入力の項目を選択してからプロパテ プリセット登録画面/プリセット発行画面で入力チェックが行われます。 ィウィンドウの「入力チェック]の右側にある「…」をクリックして入力チェックを開きます。 【数字のみチェック】 呼び出しキー: 0001 2. 入力チェックの画面が表示されたら[入力チェックを行う]にチェックを付け、入力チェッ クの条件を選択します。 項目名 入力値 abcdefghijkl I JAN⊐−ド 発行枚数 デザイン 入力定義 表形式 MLプリヤット登録 カット枚数 1 JANコードの入力形式が正しくありません。 No. JANコード 発行枚数 1 XXXXXXXXXXXX XXXXXX 2 1 入力チェック 【未入力時エラー】 呼び出しキー: 0001 最初に入力チェックの有無を選択します。入力チェックを 項目名 入力値 🔽 入力チェックを行う(I) I JAN⊐−ド 発行枚数 MLプリセット登録 Х 基本設定 カット枚数 🔒 未入力です。 入力タイプ: 数字 -▼ 入力されていない場合はエラーにする(N) OK ✓ 全桁入力されていない場合はエラーにする(F) 上図では「JAN コード」に対して下記のチェックを行っています。 ・数字のみ 【全桁入力チェック】 呼び出しキー: 0001 ・未入力時エラー 項目名 入力値 ・全桁入力チェック I JAN⊐−ド 49123456789 発行枚数 MLプリセット登録 カット枚数 全桁入力されていません。 OK



Х

OK

 \times